

令和５年第１回宝塚市議会（定例会）代表質問一覧表

令和５年２月２７日（月）～２８日（火）

	会 派	議 員 名	発言時間	予定時間
2月27日	日本共産党 宝塚市会議員団	たぶち 静子 議員	90 分	9:15～10:45
	たからづか真政会	富川 晃太郎 議員	90 分	11:00～12:30
	公明党議員団	江原 和明 議員	90 分	13:15～14:45
	日本維新の会 宝塚市議団	村松 あんな 議員	90 分	15:00～16:30
2月28日	ともに生きる 市民の会	梶川 みさお 議員	90 分	9:15～10:45
	市民ネット宝塚	寺本 早苗 議員	90 分	11:00～12:30
	令和安全の会	北山 照昭 議員	90 分	13:15～14:45
	無所属の会	田中 大志朗 議員	90 分	15:00～16:30

※ 議事の進行により、若干時間が前後することがあります。

順位	発言事項及び発言者
1	1 大軍拡ストップ・平和でも、暮らしでも、希望が持てる政治を (1) 岸田内閣による大軍拡に反対し平和を守る市政を ア 憲法9条に対しての市長の見解を (2) 物価高騰から暮らしを守る市政を (3) 原発再稼働ストップ、原発ゼロの社会を (4) 新型コロナウイルス感染症 ア 国が新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを現在の2類から5類へと変更することについて 2 憲法を生かし市民のいのちと暮らしを守る市政を～主な施策について～ (1) 子育て支援について ア 子どもの医療費助成制度は高校卒業まで完全無料化を イ たからっ子総合相談センター「あのね」を中心に関係課が連携する、子どもや家庭の支援体制について (2) 保育の充実について ア 待機児童解消のための私立認可保育所の整備について (3) 学校教育について ア 学校給食費の無償化を イ GIGAスクールの環境整備と課題について ウ 中学校の部活動について エ 宝塚自然の家について (4) 健康・福祉 ア 介護保険制度について (ア) 介護保険制度の改悪を許さず誰もが安心して利用できるように (イ) 保険料・利用料の減免制度の充実を イ 加齢性難聴者の補聴器の助成を (5) 安全・都市基盤 ア 災害時要援護者支援制度について イ JR武田尾駅バリアフリー化実現に向けて、概略設計が急がれるが今後の計画について ウ 公共交通について エ 西谷地域の活性化を進めていくには、他市や三田市のように定住支援等を取り組んでいくこと (6) 市立病院について ア 老朽対策の取組と今後の建設について イ 産婦人科の再開について

	(7) ジェンダー平等の社会を目指し、人権が尊重される市政へ (8) 環境について ア 公園の管理運営について イ 「北摂里山地域循環共生圏」において、市としてどのように事業の推進を図っていくのか (9) 観光・産業・文化 ア ベガ・ホールのエレベーター設置について イ 北部地域において、集落ごとの農業の将来像を明確にする「地域計画」とは (日本共産党宝塚市議会議員団 たぶち 静子 議員)
2	1 市政運営の基本方針について (1) 子どもたちが安心して健やかに育つまちを「つくる」について ア 本市が共働き世帯が子育てしやすいまちとして評価されていると自負される理由は何か イ 2040年をどのような人口構成で迎える目標なのか ウ 第二庁舎「たからっ子総合相談センター あのね」の果たす役割は何か エ 子ども医療費助成制度の拡充についての考えは (2) 人権、いのちと暮らしを未来に「つなぐ」について ア JR武田尾駅のバリアフリー化の実現に向けて本市はどのように関わる予定なのか イ 宝塚市立病院が目指す病院像での基本的な考えは ウ 第二庁舎の防災拠点に期待する効果は何か (3) 協働と共創で魅力のあるまちを「きずく」 ア 様々な団体との包括連携協定について 2 主要な施策について (1) 都市経営 ア 行財政経営基盤の強化に向けた新年度の取組について イ 物価高騰対策についての考えは ウ 「ひとづくり」としてのデジタル庁への職員派遣の内容と期待は また民間企業への派遣の内容と期待は (2) 安全・都市基盤 ア 都市計画税について イ 公共交通について効果的かつ持続可能な移動手段とは何が考えられるのか (3) 健康・福祉 ア 市立病院の敷地調査と建設場所の検討について イ 現市立病院の設備老朽化対応は二重投資にならないのか

	ウ 市立病院への公共交通アクセスの在り方について (4) 子ども・教育 ア 中学校の部活動は段階的にどのように変わっていくのか イ 長尾小学校の学校施設の狭あい化について (5) 環境 ア 宝塚市パークマネジメント計画について (6) 観光・産業・文化 ア J Rデスティネーションキャンペーンに何を期待するのか イ 農業振興について農地の効率的な利用とは ウ 地場産業である花き植木産業について エ 市花ダリアについて オ 市制70周年について (たからづか真政会 富川 晃太郎 議員)
3	1 市長の国に対する予算要望活動の結果について (1) 文部科学省への令和4年度補正予算要望の結果について (2) 国土交通省への令和5年度予算要望の結果について 2 施政方針と令和5年度予算から (1) 子ども医療費助成制度の拡充についての検討内容 (2) 書かない窓口の推進については全ての部署対象か、ワンストップ窓口を設置するのか (3) J R武田尾駅バリアフリー基本構想とエレベーター設置の概略設計 (4) 宝塚市地域公共交通計画に基づく、市民の移動手段の確保策 (5) 産後の方の健康診査費助成制度創設について助成内容 (6) 通学区域の整合と小中一貫教育の推進に関する基本方針策定内容 (7) パークマネジメント計画の策定の狙いは、管理の民間化なのか (8) ごみの飛散防止折り畳み式ネットボックスの補助制度の創設内容 3 政府の新年度方針等に関すること (1) 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを、2類相当から5類に引き下げる ワクチン接種の実施について、感染者の葬儀に関する改正指針について、マスク対応 (2) 電子処方箋の運用が1月から開始されたが、市立病院の対応は (3) 子宮頸がん予防の9価ワクチンの公費による定期接種について (4) 昨年12月公立小・中・高校で実施の発達障がいに関する調査結果を受けての

	対応は (5) 出産育児一時金 50 万円の支給について (公明党議員団 江原 和明 議員)
4	1 市政運営の基本方針 (1) 子どもたちが安心して健やかに育つまちを「つくる」 ア 共働き世帯が子育てしやすいまちと評価されているとする根拠は (2) 人権、いのちと暮らしを未来に「つなぐ」 ア 就労している高齢者が増加し、地域活動にかけられる時間が減少傾向にある中で、役割や生きがいを見いだせる活動の場を具体的にどのようにつくっていくのか イ 宝塚市立病院を将来に「つなぐ」ために、病院の老朽化などの問題をどのように解決するのか市民にいち早く示すべきでは (3) 協働と共創で魅力のあるまちを「きずく」 ア 「批判や対立ではなく、対話と協働を」は市民を代表する議会との対応の中でどのように生かされているか また、他者の多様性を理解する「対話力」の重要性はどのように市政運営に反映されているか イ 創造性豊かな職員の育成や柔軟に課題解決ができる行政組織を醸成するために、職員が時には市長と異なる意見を述べるような組織風土であるか ウ 大きな災害に備えて、市長自らが積極的に伝わる広報を実践していくべきでは (4) 市長就任からの中間評価 ア 2年間の市政運営についてどのように自己分析しているか イ 各計画、事業におけるPDCAサイクルは十分に機能しているか ウ 都合の悪い情報を市民に正確に知らせたこそ信頼を得られると思うが、宝塚市のネガティブな情報も含めて包み隠さずにOPENにしていく考えはあるか 2 令和5年度予算に関する主要な施策 (1) 都市経営 ア 本市の指定金融機関との経費負担の見直し協議の状況と、令和5年度からの開始が想定されている地方税用QRコード導入に向けての対応は イ 阪神間で2番目に実質税収減が大きいふるさと納税について市の問題意識と令和5年度の具体的な取組は ウ 国のデジタル田園都市国家構想において、書かない窓口の実現にはマイナンバーカードの活用が想定されているが、今後、現状のタブレットの使用からマ

イ ナンバーカードを活用していくという方向に変わるという理解でよいか

エ D Xに対応できる人材を育成するために職員の育成方針にリスクリングを盛り込む考えは

(2) 安全・都市基盤

ア 災害対応

(ア) 災害対応における当事者意識を全職員に持たせるためにどのような取組を行っているか

(イ) 平成31年に策定された災害ごみの処理計画について、新ごみ処理施設の整備期間中に南海トラフ地震が発生した場合も想定できているか
2年で処理は可能か

イ インフラ・公共施設整備

(ア) 総務省が公表している令和2年度市町村の財政状況資料集の有形固定資産減価償却率を見ると、宝塚市は類似団体25団体の中で最も老朽化が進んでいるが、この危機的状況をどう受け止めているか。また具体的な目標設定はあるか

(イ) 宝塚南口駅前道路の拡幅整備と併せ、恒常化しているロータリーの路上駐車や放置自転車対策などのソフト対策にも取り組み、駅前空間を整備していくべきでは

(ウ) 上水道の管路耐震化更新工事を行う際に周辺の道路整備を一体化して行うことで、改修費用を抑えることはできないか

(3) 健康・福祉

ア 令和5年度から導入されるケアプランデータ連携システムについて、D Xを推進していく市としても事業者への積極的な広報に取り組むべきでは

イ 健康たからづか21のアンケートにおいて、かかりつけ医等の有無について質問しているが、市として圏域ごとの地域医療体制に過不足がないかも併せて調査し、実態把握に努めるべきでは

(4) 子ども・教育

ア 令和7年度を始期とする子育てに関する新しい計画におけるアンケートの調査項目、手法は

イ 医療的ケアを必要とする子どもの保育の機会確保のために新たに公立保育所に看護師を配置することについて、安定した機会確保のためのスキームを構築すべきでは

ウ 民間放課後児童クラブの新設整備の状況と、たからっ子「育み」プラン後期計画で示された待機児童解消の目標達成の見通しは

エ 教育環境の適正規模について

(ア) 宝塚第一小学校区の児童数増加の見込みと旧宝塚ホテル跡地マンション建設の影響は

(イ) 宝塚第一小学校のトイレの数は

	(ウ) 宝塚第一小学校の児童 1 人当たりの運動場面積は。また、市内の小学校の中で 1 人当たりの運動場面積が 10 平方メートル未満の学校は何校あるか オ GIGA スクール構想において、タブレット端末の活用状況と授業の ICT 化の効果をどのように分析しているか (5) 環境 ア ゼロカーボンシティ実現に向けて公用車の台数見直しの具体的取組は (6) 観光・産業・文化 ア これまでに行ってきた新たなビジネスモデル構築への支援の検証とその結果を受けて、見直した点は イ 魅力ある店舗の出店促進策に向けた具体策は ウ 宝塚サマーフェスタにおける光熱費や物価高騰への対応を検討しているか (日本維新の会宝塚市議団 村松 あんな 議員)
5	1 市政運営の基本方針 (1) 子どもが安心して健やかに育つまちを「つくる」について ア 本市は、「共働き世帯が子育てしやすいまちとして評価されている」という根拠は イ 子どもの医療費助成制度の拡充の内容は (2) 人権、いのちと暮らしを未来に「つなぐ」について ア 市立病院の経営強化について (ア) 新たな病院建設のスケジュールは (3) 協働と共創で魅力のあるまちを「きずく」について ア 阪急阪神ホールディングス等との包括連携協定締結の成果と課題は 2 令和 5 年度予算に関する主要な施策 (1) 都市経営 ア 「書かない窓口」の推進について イ 地域ごとのまちづくり計画の推進について ウ 人権問題の解決に向けた取組について (2) 安全・都市基盤 ア 災害対策について (ア) 災害時要援護者支援制度について イ 宝塚市地域公共交通計画について (ア) 効率的かつ持続可能な移動手段の確保に向けて (イ) 市立病院への路線増に向けて (3) 健康・福祉 ア 新型コロナウイルスワクチン接種について

	(ア) これまでのワクチン接種の費用対効果は (イ) コールセンター業務委託について (4) 子ども・教育 ア たからっ子総合相談センター「あのね」の事業について イ 宝塚第一小学校や長尾小学校のよりよい教育環境の実現に向けて ウ G I G Aスクール構想について エ 子ども発達支援センター診療所について (5) 環境 ア 環境に関する施策 (ア) 太陽光発電などの導入の推進状況について イ 市営霊園について (ア) 樹木葬式墓所について (イ) 長尾山霊園の市外在住者への貸出しについて (ウ) 西山霊園の貸出しについて (6) 観光・産業・文化 ア 文化芸術センターの運営について イ 就職を希望する方への支援について ウ 西谷地域の農業振興について (7) 職員の働き方に関わる項目 ア 創造性豊かな職員の育成 イ 「書かない窓口」による職員の負担 ウ デジタル庁や新たな民間企業への派遣 エ 職員の考え方や行動の変容が広がり、組織に深く浸透していくよう「ひとづくり」の取組 (ともに生きる市民の会 梶川 みさお 議員)
6	1 市政運営の基本方針について (1) 子どもたちが安心して健やかに育つまちを「つくる」 ア 「共働き世帯が子育てしやすいまちとして評価されている」とあるが、どんな点か イ 「たからっ子総合相談センター“あのね”」のめざす、切れ目のない寄り添った支援について ウ 子ども医療費助成制度の拡充に向けた課題の認識について エ コロナ禍で失われた子どもたちの学びの機会をどのように回復していくか (2) 人権、いのちと暮らしを未来に「つなぐ」 ア 人生100年時代における「高齢者の健康づくり、役割やいきがいを見出せる活動の場づくり」と「日々の暮らしを支え、見守ることのできる地域づくり」について

(3) 協働と共創で魅力のあるまちを「きずく」

ア 「文化の自己決定能力」を磨くために本市がすべきことは何か

イ 「創造性豊かな職員の育成」「柔軟に課題解決ができる行政組織の変革」に向けた具体的な方策と広報戦略の課題について

2 都市経営について

(1) 財政状況の認識と「3つの基盤の更なる強化」について

ア 現段階での到達度

イ デジタル化社会の推進

(2) 「ひとづくり」「組織づくり」について

(3) パートナースhip宣誓制度からファミリーシップ制度への拡充について

3 安全・都市基盤

(1) 災害対策本部室の常設と災害時要援護者支援制度について

(2) 旧宝塚ホテル跡地開発の進捗状況と周辺整備における課題について

4 健康・福祉

(1) 出産や育児への支援について

(2) 市立病院の経営強化と建て替え、設備の更新について

(3) 障がい者施策における相談支援専門員の確保などによる相談支援体制の充実について

5 子ども・教育

(1) 医療的ケアを必要とする子どもの安全な学びや保育の機会を確保するための看護師の配置について

(2) 保育ニーズの対応について

(3) 市立学校園の適正規模と適正配置について

(4) 市立幼稚園における3年保育の成果と拡充について

(5) 市民力向上のための社会教育の必要性和実績、課題について

6 環境

(1) ゼロカーボンシティ（脱炭素化）の取組について

(2) 脱プラスチック化の推進について

7 観光・産業・文化

(1) 官民連携による積極的な観光振興のプロモーションについて

(2) 武庫川河川敷～花のみち一帯の産学民連携での魅力づくりについて

(3) 文化芸術センターのめざすものと取組の成果、課題について

	(4) 捕獲したイノシシやシカのジビエ利用の促進について (5) 宝塚市制施行 70 周年、宝塚歌劇 110 周年、手塚治虫記念館 30 周年のトリプル周年を盛り上げる取組について (6) 宝塚温泉開湯 800 年を記念するイベントと歴史を継承する取組について (市民ネット宝塚 寺本 早苗 議員)
7	1 「子育て世代に選ばれるまちを目指して」について (1) 子ども医療費助成の拡充について (2) 学校給食費の無償化（保護者負担）について 2 老朽化してきている学校の改築計画の具体化について (1) 築 60 年超の学校施設の建て替えはどうか (2) 今年は、例年のように公共施設で雨漏りが発生することはないのか 3 安全・安心のまちづくりについて (1) 混在地のレッドゾーン 3 か所の防災対策工事について (2) 大堀川のいっすい、浸水対策について ア 国道 176 号下への新たなボックスカルバート河川整備（河床を 2 メートル下げる）について イ 「向月町地区外雨水流出解析」を踏まえ、市としての内水対策について 4 JR 武田尾駅のバリアフリー化、駅舎（トイレ改修）及び周辺整備について (1) 国の鉄道駅総合改善事業を活用した駅施設の整備提案とは (2) バリアフリー基本構想作成及びエレベーター設置の概略設計を進めるとは 5 孤独死の増加とひとり暮らし高齢者などに対する支援について (1) 宝塚市における孤独死及びひとり暮らし高齢者の実態はどうか (2) 厚生労働省が指定し助成している「持続可能な権利擁護支援モデル事業」について 6 宝塚市立長谷牡丹園、里帰り牡丹復活、牡丹園の充実について (1) 昨年の春シーズン以後の取組と牡丹園の状況は (2) 新しいポスター、案内チラシ、チケットなどは、どうされるのか 7 山手台東 4 丁目、山手台北公園前、S 字カーブの安全対策について (1) 昨年から 13 回ほど事故が連続して発生しているとのことですが、事故発生状況はどうか

	(2) 既に路面舗装の改修はされましたが、当面の安全策としては、どうされるのか (3) 「道路の形状（傾き）を根本的に変えないと事故はなくなる」との意見がありますが、市としての認識・対応はどうか （令和安全の会 北山 照昭 議員）
8	1 施政方針について (1) 施政方針は、バラ色の夢を語るだけでなく、市政の深刻な課題について一つ一つ、もっと丁寧に取り上げることが必要ではないか (2) 施政方針は一体どのように作成されたものなのか、市長はどのように関わったのか、そのプロセスをオープンにして説明いただきたい 2 施政方針は誰に向けられたものか (1) 施政方針では、施政の重点はいかなる市民層に置かれているか (2) 施政方針において、サラリーマンに対する施政は何があるか 3 財政について (1) 施政方針では、財政は「依然として厳しい」との認識が示されているが、「今後ますます厳しくなる」と認識するべきではないか (2) 施政方針では、「規律に基づく健全な財政運営に努めるとともに、成果の視点に立った事業の見直し」を進めると書かれているが、具体的にはどのような財政運営か 財政当局には、規律に基づく財政運営に努める意思が本当にあるか 4 市立病院について (1) 令和5年度の病院事業会計予算によれば、入院単価は7万円、入院患者数は315人と設定されている。これは「宝塚市立病院が目指す病院像」で設定された目標が、早くも変更を余儀なくされたということか 入院単価を7万円に設定し直した根拠は何か (2) 「宝塚市立病院が目指す病院像」の説明で示された、地方独立行政法人への移行は検討もしていない、という姿勢に変わりはないか (3) 病院の建て替えについて、一刻も早く検討し、決定すべきだと考えるが、現状ではどのような検討がなされているか 5 魅力あるまちづくりについて (1) 「文化の自己決定能力」とは何か。それはまちづくりのためにどのような意味で重要なのか (2) 一民間企業の事業に過ぎない宝塚歌劇や、一個人の著作物である「鉄腕アト

ム」などに本市のイメージを過度に依存することは好ましくないと考える。また、現代芸術作品を公共施設に設置することは抑制すべきであるとする

当局の認識は

- (3) かつてのニュータウンであるところの山の手の住宅地が今やオールドタウンと化し、空き家が激増しつつある問題について、どのように対処すべきであるとするか

6 学校教育について

- (1) 旧来の画一的授業をやめ、児童生徒の個性や学ぶ意欲、学習到達度に応じられるように、授業のやり方や学校のあり方も改革していくことが必要とするが、教育委員会の認識は

- (2) 家庭が子どもを学校外の学習塾などへ通わせることについては、学校教育とは何ら関わりのない問題であるとして、相変わらず無視するのか

教育委員会の認識は

- (3) 教育委員の選任の仕方も含めて、教育委員会を活性化する方法を検討するべきではないか

7 市民の安全確保について

- (1) 外国との戦争が現実になってしまったときの市民の安全について、市は、戦争が起こらないことをバクゼンと期待するだけでよいのか。行政の認識を伺いたい

- (2) 原油価格の高騰などで、電力などのエネルギーの確保が懸念されるが、市は、市民のエネルギーの確保について、単に民間企業と市民との間の問題であるとして傍観しているだけでよいのか。行政の認識を伺いたい

(無所属の会 田中 大志朗 議員)